

# ホテル旅館の「音」が変わる！ 波動スピーカーの革新性

去る3月30日に開業したザ・リッツ・カールトン東京。同ホテルが目指すのはソフト・ハードのすべての面で最高のホテルをゲストに提供すること。そのために客室内に置くものすべてに最高のクオリティを求めている。

そのザ・リッツ・カールトン東京のスイートルーム36室すべてに使われているのが、エムズシステムの波動スピーカーMSシリーズであり、同ホテルのプレスリリースで、このスピーカーを使っていることが紹介された。エムズシステムと聞いて、すぐにピンと来る人は少ないだろう。そんな一般的には無名のブランドがなぜザ・リッツ・カールトン東京のスイートルームに導入されたのか？しかもそのことをわざわざ明記して発表したのは？

## スピーカーを超えた スピーカー

エムズシステムのMSシリーズが世に出たのは2004年1月。

オーディオ業界にとって、音質的な出来事であった。坂本龍一氏を始め最先端で活躍する著名人の愛用者が多いという。たかがスピーカーではないかと思ふかもしれない。しかしそれは従来のスピーカーの概念を覆す、真に革命的なものだ。ポディの周りにスピーカーユニットが取り付けられた円筒形の物体。これがMSシリーズである。それも1本のみ。ステレオのスピーカーは左右一対、2台一組という常識からすれば、あり得ないスタイルだ。

これではまともな音はするはずがない。オーディオの知識がある人なら誰でもそう思うだろう。

「現代の音響工学の理論とは矛盾している部分もあり、音が鳴らない、あり得ないかたちと言われている。エムズシステムの三浦光仁社長自身、そう断言している。

しかし、実際に音を鳴らしてみると信じられないことが起こる。単にいい音がする、という表現ではいい足りない。その場に演奏者

がいて、生演奏をしている感覚におちいる。立体感とライブ感のある音が聞こえてくる。これは初めてMSシリーズの音を聞く、ほぼすべての人が感じることだという。スピーカーから音が向かってくるのではなく、生演奏の音が自然に聞こえてくる、そんな感覚を覚える。

「われわれは音響装置ではなく、楽器としてとらえているのです」という三浦氏の言葉には驚愕力がある。

従来のスピーカーシステムと決定的に異なるのは、聞く位置を選ばないことだ。通常左右一対のスピーカーだと、ベストな音が聞こえるリスニング・ポジションがあり、そこから離れると立体感のあるステレオサウンドは失しめぬ。ところがMSシリーズの場合はどこで聞いても音の質感が変わらない。ライブコンサートで客席の位置が違えば、聞こえ方が変わる。それと同じことが起きるだけである。これは置く場所を選ばないという点でも異なる。

デザイン面でも、いままでのスピーカーのイメージとはかけ離れた魅力的なカタチである。

ザ・リッツ・カールトン東京が採用したのは、これらのMSシリーズのもっとも卓越した機能とデザインを評価したからに他ならない。同ホテルが目指すのはお客様が想像している以上のサービス、期待を上回るものでないである。MSシリーズが生み出す音空間はそれを実現する。それが採用の理由であり、だからこそ名前を出して紹介したのである。

心地よい空間を提供するためにホテル・旅館はあらゆる努力をしている。その中で唯一実現できなかったのが最高の音空間の提供だろう。MSシリーズはその課題をクリアする力を秘めている。客室、ロビー、レストラン、エステールム。心地よい音が必要などんな場所に置いてMSシリーズはその力を発揮するに違いない。



MSシリーズのMS-0801 (重量2.2kg・直径160mmX400mm) 9万8000円(税込)。一回り大きなMS-1001 (12万6000円(税込))、iPodなどに接続できるアンプ内蔵のMS-d08 (シュエット) (18万8000円(税込))もある。

## 有限会社エムズシステム

東京都中央区新富2-1-4 1F  
TEL 03-5542-7432  
www.msysystem.co.jp  
[支店電話番号あり]